

自宅療養者等の医療支援強化を目的に

仮想待合室

『東京コロナ診療待合室』

を活用したオンライン診療システム

東京都医師会

副会長 平川 博之

自宅療養者等の医療支援

「オンライン診療システムを活用した遠隔診療」

概要

- 【目的】 新規陽性者の急増に対応するため、地域を問わず、自宅療養者への遠隔診療を可能とする。
- 【開始時期】 令和3年9月16日（木曜日）から10月29日（金曜日まで）（延長の可能性あり）
- 【対象地域】 多摩地域を所管する都保健所（感染状況に応じて、23区にも拡大予定）
- 【診療時間】 平日18時から21時まで

患者

- 【対象者】 軽症者かつ18時の診療開始まで待機できる方
- 【必要機器】 スマートフォン（携帯電話・固定電話は非対応）

保健所

- 【受診前】 遠隔診療を希望する患者に、SMS（ショートメッセージ）またはメールでオンライン診療システムのURLを送付、受診方法を案内
（1保健所当たり1日最大10名まで ※状況に応じて変更の可能性あり）
- 【受診翌日】 システムにログインし、診療を受けていない患者がいないか確認

都医師会

- ・ 診療可能な医師を確保
- ・ システム環境について、株式会社MICINと適宜調整

医師

- ・ 18時から21時までオンライン診療システムにログイン
- ・ 順番待ちの患者を、受付時間の早い順から診療
- ・ 順番待ちのまま、放置された患者がいないか、適宜確認
- ・ 診療後、患者を所管する保健所に報告書を医師ごとに提出

東京コロナ診療待合室

診療当番医師数

(令和3年9月14日現在)

●多摩地区医師会会員から72名が参加希望

月曜日 26名

火曜日 29名

水曜日 33名

木曜日 25名

金曜日 31名

●東京全地区医師会会員から137名が参加希望

月曜日 65名

火曜日 66名

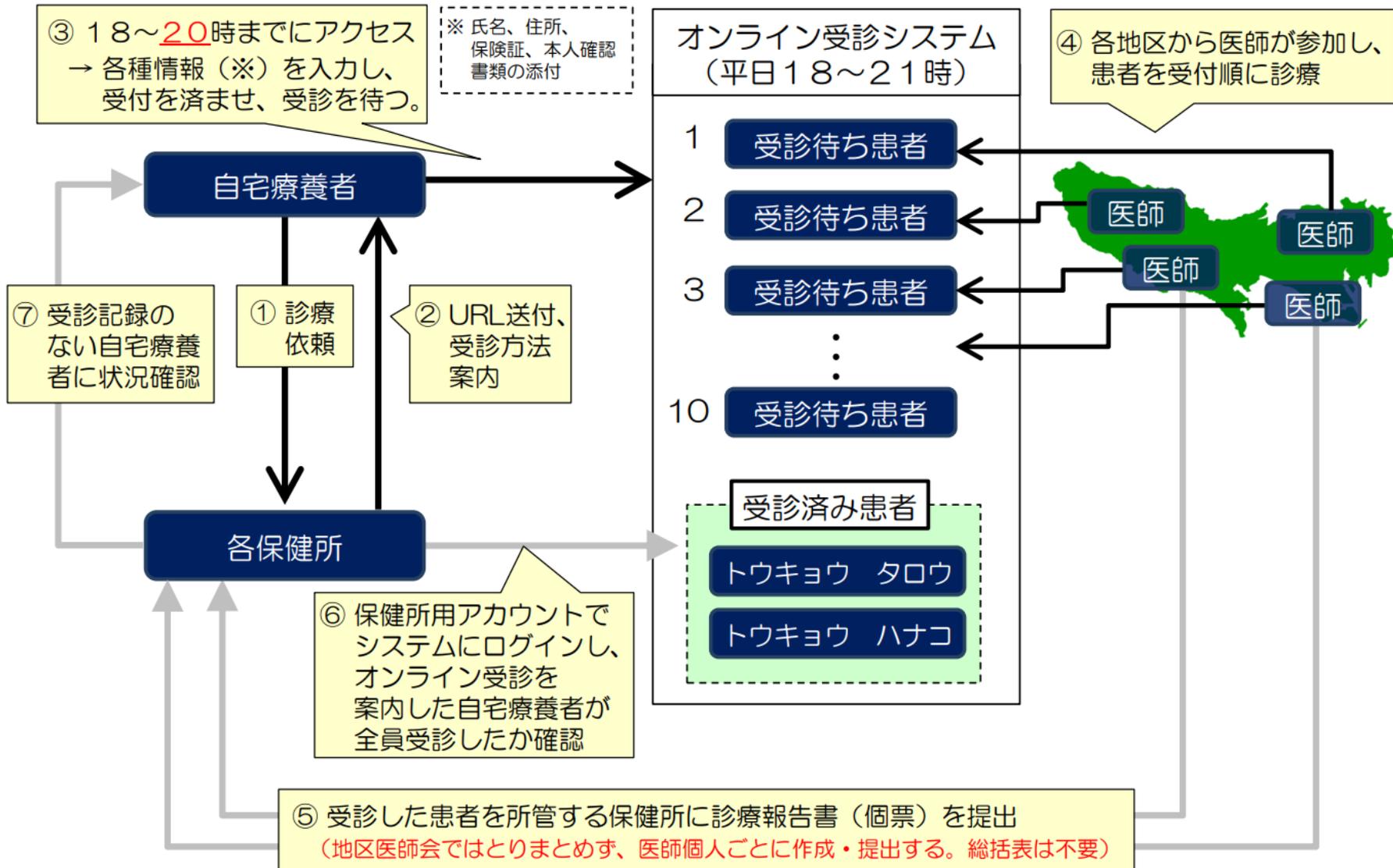
水曜日 67名

木曜日 64名

金曜日 67名

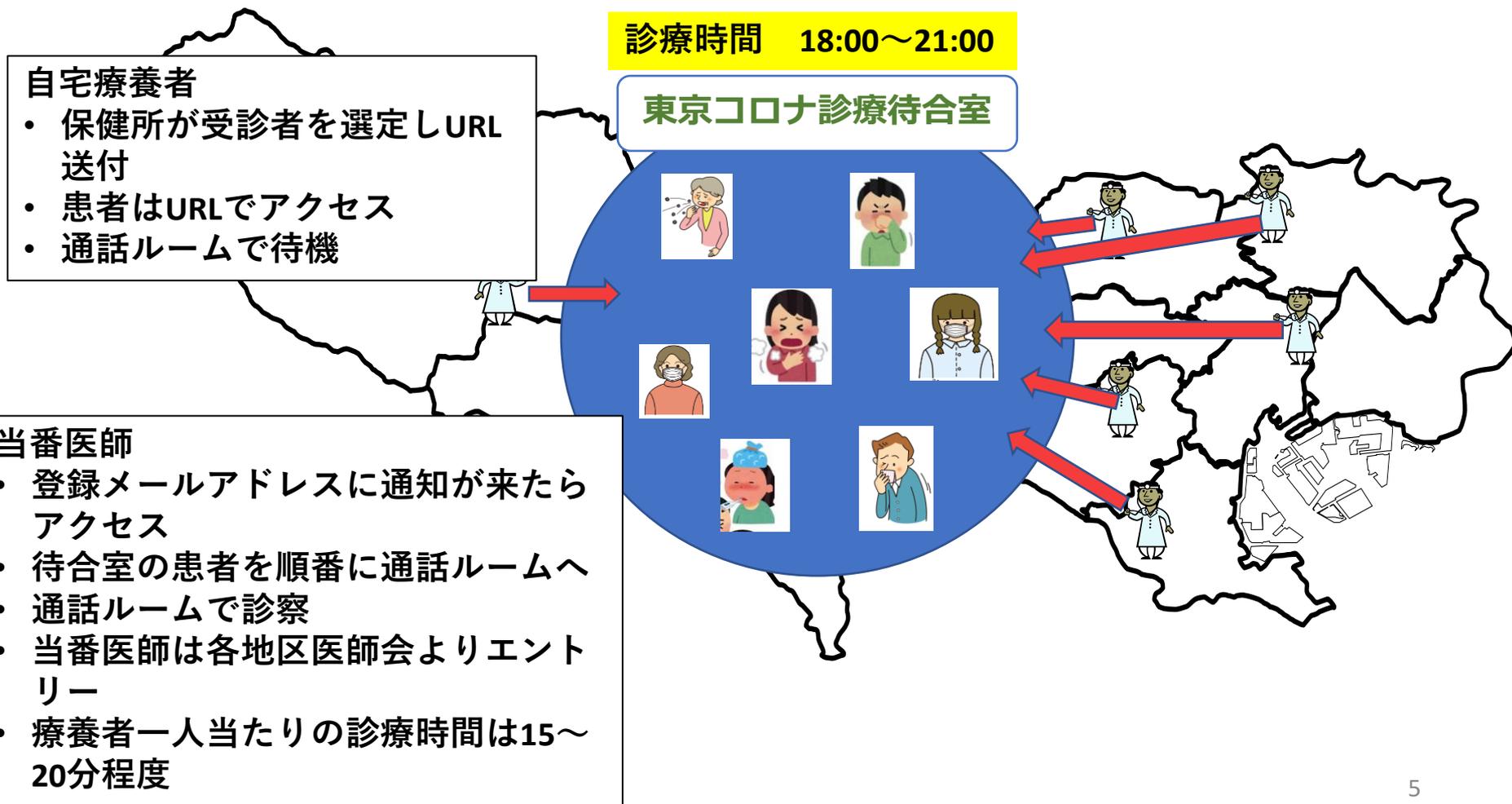
◎東京都医師会役員及び医療情報検討委員会委員が当日の「待合室待機者」がゼロとなったことを確認する。

自宅療養者等に対するオンライン診療システム 「東京コロナ診療待合室」運用イメージ



東京コロナ診療待合室

※MICIN社curon typeCを用いたビデオ通話ルームによる多対多のon-line診療イメージ



新型コロナウイルス感染第5波下の高齢者施設の状況

- 家庭内感染が大幅に増加したが、同居高齢者への感染対策に緩みが出ている。
- 家族に陽性者が出ても保健所等からの指導・指示にタイムラグがあり、同居高齢者の利用する介護サービス事業所へ連絡が遅れる。
- 施設サービスでは新規入所者等にPCR検査や抗原検査を実施しているがSSやデイサービス、デイケアサービス等のリピート利用者にはPCR検査等をパスさせることもある。
- 施設側にもワクチン接種を終わっているという油断がある。
- その結果、陽性者が入所・通所することになる。
- 但し、陽性者が発生した事業所を調査すると、これまでと違って、ワクチン接種後の利用者は軽症が多く、転入院することもなく、自施設で療養を継続するケースも認められる。
- 重症化するケースにはワクチン未接種者が多い。
- 高齢者感染者は再度増加してきたが、施設新規感染者は減少傾向にある。
- 利用者に感染者が出ても、以前のように2桁後半や3桁といった大型クラスターは大幅に減少している。

高齢者施設集中的検査実施件数と陽性件数

